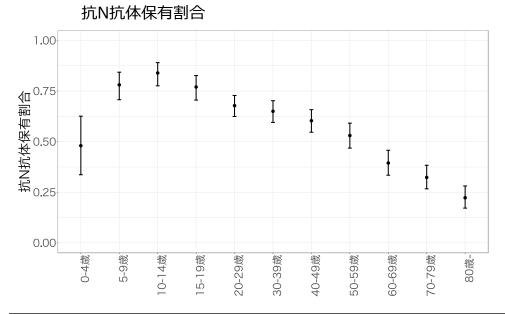
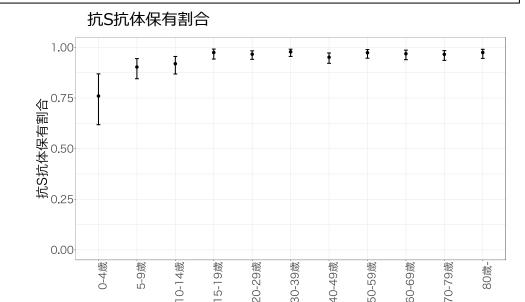
第2回民間検査機関での検査用検体の残余血液を用いた

新型コロナウイルスの抗体保有割合実態調査(概要、結果(速報値))

- 感染症法に基づく積極的疫学調査として、令和5年11月25日~12月4日に診療所で採取された検査用検体の残余血液を用いて、小児・ 高齢者を含む各年齢群における抗体保有状況を調査。調査の結果、国内22府県から合計2,561検体を収集(12月4日時点)。
- 全体としては、抗N抗体保有割合は56.3% (95%CI: 54.4 -58.3%)、抗S抗体保有割合は95.7% (94.9-96.5%)(速報値)。
 - ※ ワクチンを接種した場合は、抗S抗体のみが陽性となる。
 - 新型コロナウイルスに感染した場合は、抗N抗体と抗S抗体の両方が陽性になる。
- 年齢群別では、抗N抗体保有割合は5~19歳では75%以上と若年者で高い傾向にある一方、高齢者では低い傾向にあった。抗S抗体は、 5歳以上の年代で90%を超えており、0-4歳の区分でも約7割が保有していた。





【調査概要】

- 調査期間中に診療所で血液検体を採取された者 2,561名 (12月4日時点) • 対象者
- 検体数
- 385検体/年齢群区分(0-4歳は97検体)の合計3,947検体を予定 0-4歳、5-9歳、10-14歳、15-19歳、20-29歳、30-39歳、40-49歳、50-59歳、60-69歳、70-79歳、80歳以上(11区分) • 年齢群区分
- 測定項目 抗N抗体、抗S抗体
- 統計分析 年齢群毎の抗体保有割合と95%信頼区間(CI)の推定等。信頼区間はBinomial exact CIで構成。
- ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 Elecsys® Anti-SARS-CoV-2、Elecsys® Anti-SARS-CoV-2 S • 測定機器
- 株式会社、ファルコバイオシステムズ • 受託検査機関
- 実施主体 厚牛労働省(分析機関:国立感染症研究所)

【留意事項】

- ・結果の解釈に当たっては、以下の点に留意する必要がある。✓ 本調査は関西・中部・中四国を中心とした22県の診療所からの検体に偏っており、我が国全体の抗体保有割合とは異なる可能性があること
- ✓ 今回の測定結果は、陽性判定された検体数を全検体数で割った値であり、単純集計にて求めたものであること

第2回民間検査機関での検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有割合調査結果(速報値))

表1.性別

性別	抗N抗体保有割合 (95% CI)	抗S抗体保有割合 (95% CI)
女	55.6% (53.0 - 58.2%)	96.2% (95.1 - 97.1%)
男	57.4% (54.3 - 60.4%)	95.1% (93.6 - 96.3%)

表2.年齡群別

年齢群	抗N抗体保有割合 (95% CI)	抗S抗体保有割合 (95% CI)
0-4歳	48.0% (33.7 - 62.6%)	76.0% (61.8 - 86.9%)
5-9歳	78.1% (70.7 - 84.3%)	90.3% (84.5 - 94.5%)
10-14歳	83.9% (77.6 - 89.0%)	92.0% (86.9 - 95.5%)
15-19歳	77.0% (70.5 - 82.6%)	97.5% (94.3 - 99.2%)
20-29歳	67.8% (62.4 - 72.8%)	96.7% (94.1 - 98.3%)
30-39歳	65.0% (59.5 - 70.2%)	97.8% (95.5 - 99.1%)
40-49歳	60.3% (54.6 - 65.8%)	95.2% (92.1 - 97.3%)
50-59歳	53.0% (46.8 - 59.1%)	97.4% (94.7 - 98.9%)
60-69歳	39.5% (33.4 - 45.7%)	96.9% (93.9 - 98.6%)
70-79歳	32.3% (26.7 - 38.3%)	96.6% (93.6 - 98.4%)
80歳- ———	22.3% (17.1 - 28.1%)	97.5% (94.6 - 99.1%)

第2回民間検査機関での検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有割合調査結果(速報値))

表3.性年齢群別

女

年齢群	抗N抗体保有割合 (95% CI)	抗S抗体保有割合 (95% CI)
0-4歳	55.0% (31.5 - 76.9%)	80.0% (56.3 - 94.3%)
5-9歳	83.3% (72.1 - 91.4%)	92.4% (83.2 - 97.5%)
10-14歳	85.4% (76.7 - 91.8%)	92.7% (85.6 – 97.0%)
15-19歳	74.4% (66.2 - 81.6%)	97.7% (93.5 - 99.5%)
20-29歳	63.4% (56.5 - 69.9%)	96.2% (92.7 - 98.4%)
30-39歳	62.8% (55.4 - 69.9%)	97.8% (94.5 - 99.4%)
40-49歳	62.7% (55.0 - 70.0%)	95.3% (90.9 - 97.9%)
50-59歳	52.7% (44.3 - 61.1%)	97.9% (94.1 - 99.6%)
60-69歳	40.3% (32.6 - 48.3%)	98.1% (94.6 - 99.6%)
70-79歳	35.1% (27.5 - 43.3%)	95.4% (90.7 - 98.1%)
80歳-	20.3% (14.2 - 27.5%)	97.4% (93.4 - 99.3%)

男

年齢群		抗S抗体保有割合 (95% CI)
* - 	加州加州休何部石 (95% CI)	机S机体保有割占 (93% CI)
0-4歳	43.3% (25.5 - 62.6%)	73.3% (54.1 - 87.7%)
5-9歳	74.2% (63.8 - 82.9%)	88.8% (80.3 - 94.5%)
10-14歳	82.1% (71.7 - 89.8%)	91.0% (82.4 - 96.3%)
15-19歳	82.1% (70.8 - 90.4%)	97.0% (89.6 - 99.6%)
20-29歳	75.9% (67.0 - 83.3%)	97.4% (92.6 - 99.5%)
30-39歳	67.9% (59.4 - 75.6%)	97.8% (93.7 - 99.5%)
40-49歳	57.4% (48.8 - 65.7%)	95.0% (90.0 – 98.0%)
50-59歳	53.3% (44.0 - 62.5%)	96.7% (91.7 - 99.1%)
60-69歳	38.1% (28.5 - 48.6%)	94.8% (88.4 - 98.3%)
70-79歳	28.6% (20.4 - 37.9%)	98.2% (93.7 - 99.8%)
80歳-	25.9% (17.0 - 36.5%)	97.6% (91.8 - 99.7%)